

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成26年 6月 9日更新

事務事業名		県営畑地帯総合整備(担い手育成型)事業受益者支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	事業部	課長名	富加美 尚悟
	施策	11	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	岡田 晃治
	基本事業	32	後継者の育成			所属班	農地整備班	(内線)	1173
予算科目	会計一般	款6	項1	目12	事業連番10279	法令根拠	成果優先度評価結果 : ⑩ コスト削減優先度評価結果 : ⑥		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 25年度で終了 <input type="checkbox"/> 25年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・堆肥センター1件(合志バイオX系)の施設維持管理について支援を行う。 ・堆肥を有効利用し農作物の良質安定供給を図る。合志バイオX系は平成25年度まで維持管理の支援を行う。
【業務の流れ】	・堆肥センターの施設等の維持管理
【主な予算費目】	6-1-12-11 需用費 6-1-12-12 役務費 6-1-12-27 公課費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・堆肥の販売量が追いつかず運営が軌道に乗っていない旨の相談があっている。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO)	26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
・事業で導入した堆肥散布等の車両及び建物等の維持管理・堆肥センター運営への支援		
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ア: 協議回数	回	H25事業完了
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)	
・堆肥センター運営団体	→ア: 堆肥収益農家戸数	戸
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)	
・安定した経営ができる。	→ア: 堆肥販売量	トン
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠 堆肥センターの運営安定化と農産物の高品質化		※21年度までは受益農家に占める 認定農業者の割合及び整備面積/計画面積を指標としていたが、22年度からより達成度を表す堆肥販売量を指標とする。
		総トータルコスト 全体計画 ～年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	23年度 実績(決算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	25年度 実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア	回	25	30	40	40				
	イ									
② 対象指標	ア	戸	21	21	21	21				
	イ									
③ 成果指標	ア	トン	2,520	2,520	3,150	760				
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A)事業費計	一般財源	千円	713	927	359	342			
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0			
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0			
		正規職員従事人数	人	4	4	4	4			
		延べ業務時間	時間	308	360	300	400			
(B)人件費計	千円	1,243	1,465	1,221	1,593					
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,956	2,392	1,580	1,935					

事務事業名	県営畑地帯総合整備（担い手育成型）事業受益者支援事業	所属部	事業部	所属課	農政課
-------	----------------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）

*原則は25年度の後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ・堆肥の販売促進への支援することにより、年間販売量の増が見込まれる。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ・他県への販売区域の拡大
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ・他に類似事業が無い。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・事業費については、車両、施設等の耐用年数を過ぎたため、市の費用負担削減あり。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・堆肥センター運営に関する施策検討
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ・堆肥原料の持ち込みに係る受益者負担については、組合で定めたものであり、負担は公平公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ・将来的には、JA、バイオXが完全運営主体とならなければならない。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

・ペレット堆肥の販売強化、販売区域の拡大

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																					